



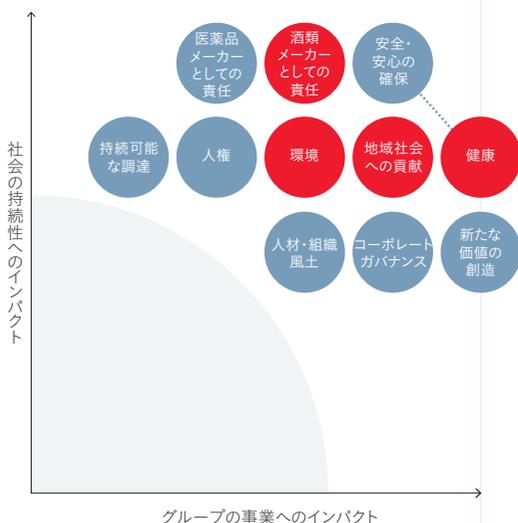
CSV重点課題・コミットメントの進捗と目標

(2017年12月末現在)

キリングループは、長期経営構想「新KV2021」の策定時に、持続的成長を実現するための経営諸課題を特定し、「グループ・マテリアリティ・マトリクス(GMM)」に整理しています。

2016年には、このGMMの中から「酒類メーカーとしての責任」を前提に「健康」「地域社会への貢献」「環境」の3つを特に重点的に取り組むべき課題「CSV重点課題」として設定しました。

グループ・マテリアリティ・マトリクス



さらにグループ一丸となって目的を共有し、「CSV重点課題」に取り組んでいくために、2017年に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)などを参照しながら、目指す姿を16のコミットメントとして策定。また、コミットメントの達成に向けた具体的なアプローチ、成果指標を定めて、毎年進捗に応じて更新しています。

	CSV重点課題	コミットメント
酒類メーカーとしての責任	適正飲酒啓発と豊かなアルコール文化の醸成	0.1 ●アルコール有害摂取対策の推進 ●ノンアルコール・低アルコール商品の開発
	健康・未病領域におけるセルフケア支援	1.1 ●お客様のカロリー・栄養摂取コントロールの支援 1.2 ●お客様のクオリティ・オブ・ライフ向上に寄与する革新的商品・サービスの創造
	治療領域の進化	1.3 ●画期的な新薬の継続的な創出 1.4 ●バイオ医薬品の普及と世界的課題である医療費抑制への貢献
	健康経営の実現	1.5 ●従業員の健康づくり
	食の安全・安心の確保	1.6 ●グローバルでの安全性とお客様の安心感の向上
健康	食の安全・安心の確保	2.1 ●日本産ホップならではのビールづくりを通じた生産地域活性化への貢献 2.2 ●スリランカの紅茶農園に対する長期的な支援 2.3 ●日本ワインの発展に向けた世界に認められる商品の開発と、それによる産地活性化への貢献 2.4 ●酪農家への持続可能な支援
	サプライチェーンの持続可能性強化	2.5 ●地域が元気になる商品・サービスの展開
	事業活動を通じた地域活性化	3.1 ●温室効果ガス排出量の削減 3.2 ●水資源の保全 3.3 ●生物資源の保全 3.4 ●容器包装の持続性向上
	環境活動の事業戦略への反映	
地域社会への貢献	環境活動の事業戦略への反映	
	環境活動の事業戦略への反映	
	環境活動の事業戦略への反映	
	環境活動の事業戦略への反映	
環境	環境活動の事業戦略への反映	
	環境活動の事業戦略への反映	
	環境活動の事業戦略への反映	
	環境活動の事業戦略への反映	

WEB コミットメントアプローチ・成果指標などの詳細はウェブサイトをご覧ください。
https://www.kirinholdings.co.jp/csv/commitment/pdf/CSV_all_J.pdf



2017年の主な成果

2018年以降の主な目標

関連ページ

G 「キリン 零ICHI」(日本)が牽引し、ノンアルコール商品のグループ合計販売数量が前年比で57%増加

G グループ横断の適正飲酒プログラムを作成し、適正飲酒啓発活動の浸透度を測る指標と目標を設定
ノンアルコール商品の認知をさらに向上

リスクマネジメント
P.52

LN Our Goodness Promiseが順調に進捗。“Best for you”と“Good for you”カテゴリーが飲料事業販売量の76%(前年74%)、Health Star Labeling導入率がSKU※の60%(前年43%)など(豪州)
※Stock keeping Unitの略

KBC 無糖商品の普及に注力(日本)
LN 2019年目標の達成を目指すとともに、商品を通じ生活に必要な栄養素に関する知識を広げるイニシアチブMilk Loves You Backを拡大(豪州)

G プラズマ乳酸菌を配合したグループ横断の統一ブランドを上市(2027年に230億円の売上を計画)

G ヘルスケアの専門家を通じて、プラズマ乳酸菌の社会的認知度を向上
上記に続く健康事業・商品の開発にも着手

価値創造報告
Case3 P.29

KHK 「KRN23(プロスマブ)」の製造販売承認申請が受理、米国食品医薬品局より優先審査に指定

KHK 「KRN23」を欧米で上市、市場浸透を図る

価値創造報告
Case2 P.27

KHK 「アダリムマブ」バイオシミラー(FKB327)について英国での特許訴訟に勝訴、欧州での販売承認申請が受理

KHK 「アダリムマブ」バイオシミラーについて米国・日本で承認申請、欧州で承認取得

KC 時間外労働時間を前年比4.7%削減

KC 働き方改革による業務改革・改善の取り組みをPDCAサイクル化

KHK 長時間労働 対前年削減部門:89.8%

KC **KHK** 健康経営優良法人認定(ホワイト500)を取得

G GFSI(Global Food Safety Initiative)承認スキームの認証取得割合を成果指標として決定(認証取得割合:33%)

G GFSI承認スキームの認証取得割合を50%以上に向上

KC ウェブサイトでソフトドリンクの原材料、栄養成分などの一覧を開示

KC ウェブサイトで酒類の原材料、栄養成分などの一覧を開示

KB 岩手県遠野市でのホップ生産者・市民・行政と連携した地域を元気にする「ビールの里構想」を推進
キリンの国産ホップ価値化のプロジェクトと連動し、各地のホップ生産者とクラフトブルワーとのホップサミットを開始

KB 国産ホップを使用したクラフトビールの展開を拡大
2026年までに国産ホップの調達量100tを維持できるホップ生産体制の確立を目指す

KBC スリランカの紅茶葉調達先農園に占める持続性の高い農園数比率約50%達成
レインフォレスト・アライアンス認証取得農園数:44

KBC 2020年までにスリランカの紅茶葉調達先農園に占める持続性の高い農園比率70%
同小農園(7,750農園)の認証取得を支援

環境報告書

ME インターナショナル・ワイン・チャレンジにて金賞受賞など、国内外の著名なワインコンクールでシャトー・メルシャンが高評価を獲得
桔梗ヶ原ワイナリー(2018年)、マリコワイナリー(2019年)の新設を決定

ME 桔梗ヶ原ワイナリーオープン、マリコワイナリー竣工
シャトー・メルシャン事業の成長を通じて日本ワインの発展に貢献(2018年販売数量増率目標:前年比10%増)

LN Lion Dairy Pride Program開始。持続可能で生産的な酪農を支援するオンラインプログラム。Landcare Australiaと提携し69の酪農家に助成金も提供(豪州)

LN 果実農家への支援プログラムを開始
(Develop Orchard Pride Program)

KB 「47都道府県の一発搾り」を発売

KB 「9工場の一発搾り」の発売を継続、地域活性化に向けた活動を告知・応援するデザイン缶を全国各地で発売

G 温室効果ガス削減目標がScience Based Targets(SBT)により承認

KC 2018-2030年までのGHG削減ロードマップを策定

KB 取手工場、**KBC** 湘南工場で水力発電による電力を導入

KB 2030年までに工場購入電力の再生エネルギー比率を50%に拡大

LN 2026年までに10MWの太陽光発電設備を設置

財務・非財務ハイライト
P.22
環境報告書

G 水源の森活動を継続(10カ所、19回実施)

G 水源の森活動を継続(10カ所、19回予定)

MB 2020年までに水使用原単位を25%削減(2015年比)

KHK 2030年までに水使用量を30%削減(2015年比)

リスクマネジメント
P.52
環境報告書

2.2と同文

2.2と同文

環境報告書

KB 6缶パック板紙のFSC®認証紙化を完了

KC 2020年までにすべての紙製容器包装をFSC®認証紙へ切り替え

KC FSC®のCOC認証ライセンスを取得

LN 2030年までにリサイクル可能材料/パッケージング比率を90%以上に向上

環境報告書

G キリングループ全体 **KC** キリン(株) **KB** キリンビール **KBC** キリンビラレッジ **ME** メルシャン

LN ライオン **MB** ミャンマー・ブルワリー **KHK** 協和発酵キリン